

授業力を  
みがく

英語編

# 会話は続くよ!どこまでも

～Small Talkの大きな魅力～

## PROFILE

**竹崎 優子** たけざき ゆうこ (高知市立義務教育学校土佐山学舎・校長)

1958年、高知市生まれ。高知女子大学英文学科卒業、高知市立中学校英語教員として採用され、高知市教育委員会、高知県教育委員会で指導主事、児童自立支援施設に併設された中学校勤務、高知県立高校勤務、2015年に開校した現任校で校長となる。1998年に告示された中学校学習指導要領の解説外国語編作成協力者及び教育課程実施状況調査外国語作成協力者、前高知県土佐教育研究会外国語・外国語活動部会会長。



## 1 How are you? Time (Small Talk)

高学年の新教材で設定されている活動の一つにSmall Talkがあります。小学校外国語活動・外国語研修ガイドブックには、2時間に1回程度、帯活動で、あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることと書かれています。本校では、1時間の授業の流れの最初に、How are you? Timeとして位置づけ、5年生は教師とALTがその日の日直の児童に簡単な質問をし、それを全体へ広げていく活動にしています。そして6年生では、同じく日直の児童と教師やALTが自分の好きな食べ物やスポーツ、その理由など児童が興味がある身近な話題についてやりとりをするのを一つのモデルとして、ペア活動で全体に広げるようにしています。

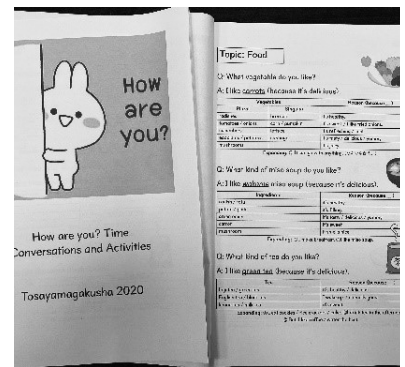
How are you? Timeは授業のなかではもちろん、本校で取り組んでいるEnglish Timeのなかでもやっています。English Timeというのは、朝の会のなかで、5分間、担任といっしょに英語を使って歌を歌ったり踊ったり、簡単な会話をする時間のことです。昨年度末に、学級担任がALT

がいなくてもHow are you? Timeができるように、Conversation and Activitiesという冊子を作りました。この冊子はALTが作ったもので、Food、Sports、Animals、Tosayamaの4つのトピックからできており、それぞれのトピックでどんなQ-Aができるのか、そのやりとりに必要な語彙や、質問の答えを言うときに考えられる理由などが載せられています。

Tosayamaのトピックを例に挙げてみると、Q:What do you want for the Tosayama café?

A:I want yuzu tea (because I like tea. Yuzu smells good).

yuzu teaに代わるMenu Itemsとしては、strawberry jam/ Todo bread / rusks /yuzu jelly/ginger aleなどが載せられており、Reasonとしては、it's delicious/tasty/yummyなどが挙げられています。



## 2 自然な対話の進め方

本校ではペアでの対話をするときに、唐突に会話が始まったり終わったりしないように、また突然質問をぶつけたりしないように、対話の流れを大事にしています。

### 【会話の始め方】

Hello, \_\_\_\_ . (名前が分かっていたら呼び掛ける。)

How are you today? I'm / My name is ○○.

Please call me △△. It's my nickname / first name.

Nice to meet you! / Nice to see you again.

### 【会話の始まりに】相手の何かをほめる。

Nice hair cut! I like your ○○. Is that a new bag?

Your ○○ is nice / good. Thank you for coming.

### 【会話を切り出すときに】

I have a question. (聞きたいことがあるとき) → OK!

Let's talk about ◇◇. (話したいことがあるとき) → Sure!

### 【会話の終わり方】

Well, nice talking to you. Take care. See you next time. Goodbye. Have a good day.

このように、お互いが対話をするときに、相手が嬉しくなったり、話したくなるような表現・気持ちよく対話を終わられる表現などを、一つのパターンとして教えておくことで、どのような内容であっても、まとまりのある自然な対話になります。



## 3 対話をつなぎ広げるLCCQ、QCA

小学校外国語活動・外国語研修ガイドブックには、「話すこと」によるコミュニケーションを行う際に欠かせない「対話を続けるための基本的な表現」が例示されています。本校では、対話の続け方をLCCQ、QCAと表記して意識して使えるように黒板に掲示しています。

LCCQのLはListenのことで「聞いていますよ!」と伝える表現です。たとえば、Wow. O.K. Cool. Uh-huh. Right. I see. Really?など、相手の言うことをだまって聞くのではなく、あいづちをうつ

ときに使います。C

はCheckのことで、「分かりましたよ!」と伝える表現

で、相手の言った

ことを繰り返します。たとえば、Oh, you like/have/want

○○のような言い方です。もう一つのCはCommentのこ

とで、聞いたことに対するコメントを伝えるときに使います。た

とえば、Oh, it's nice / great / excellent / wonderful /

amazing !! Me, too. Sounds nice. Looks nice.などになり

ます。最後にQはQuestionを意味し、聞いたことに関連

して、さらに知りたいことを質問します。動物が好きと言われ

たら、What animal do you like?と聞き返したり、ゲームをし

たと言われたら、Did you enjoy it?と感想を聞くなど、対

話を広げていくことができます。

次にQCAです。QはQuestionのことです。質問が聞き取

れなかったり意味がよく分からなければ、Pardon? や

Could you say that again?と言って聞き返します。Cは

Checkのことで、Sushi? What sushi? What kind of

sushi do I like?などと言って、あなたの聞いたことはこれで

すね!と確認します。最後のAはAnswerです。理由を添えたり、

付け足しをして答えたりすると、対話が広がります。先ほ

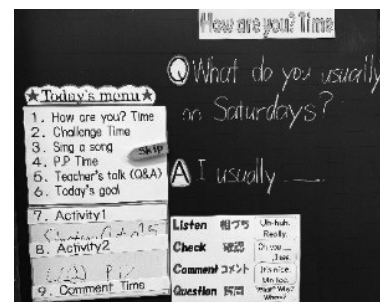
どの質問に対しては、I like salmon because it's tasty. I

like salmon and avocado.となります。

本校では、今後もこのような言語活動を継続して行い、コ

ミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を育成

していきたいと考えています。



### 引用・参考文献

・小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック(文部科学省)